

1. 2020(令和2)年度 (2020年4月1日から2021年3月31日まで) 事業報告

1) 2020 (令和2) 年度東京都助産師会定時社員総会 報告

日 時：2020 (令和2) 年6月13日(土)14:00～14:45

場 所：公益財団法人 東京都助産師会館 5階講堂

社員総数：1068名 (2020年5月12日現在)

出席社員： 729名 (出席 46名、委任状 683名)

定款第18条2項に基づき出席社員の中から、議長、橋本初江氏、副議長、赤山美智代氏、大久保久美氏が選出された。議長より、出席正会員(社員)および委任状数を報告し、正会員数の2分の1の出席をみたので議案の議決に必要な定足数を充足していることが告げられ、議案の審議に入った。

<監査報告>

監事の石村あさ子より、本日の定時社員総会に提出されたすべての議案および書類を調査し、いずれも法令および定款に適合しており、不当な事項はないと認めたことが報告された。

(1) 2019年度事業報告

①2019年度定時社員総会は、2019年6月15日(土)に公益財団法人東京都助産師会館講堂において開催され、社員総数1067名、出席社員611名で開催された。審議された内容はすべて承認された。

②理事会・運営会議・地区分会長会議の報告

特記すべき事項として、2019年11月26日に公益法人設立後2回目の東京都立ち入り検査があった。前回指摘事項については概ね改善されており、新たな指摘事項については改善に着手、終了しているとの評価であったことが報告された。

11月3日、とうきょうマタニティフェスタを東京都看護協会との共催で実施し、盛況の中終了した。

③専門部会・委員会の報告

資料に基づき、部会や委員会主催の研修を年間計画に沿って実施したことの説明がされた。東京都委託助産師教育指導講習会のうち、2月26日開催分はCOVID-19感染対策のため中止となった。

部会、委員会の連携を重視した研修会、政策提言に向けての意見交換の機会が増えたことなどの報告があった。

(2) 2020年度事業計画および収支予算報告の件

①2020年度事業計画

会長の片岡より2020年度の事業方針、事業計画について報告された。今年度のスローガンは、新型コロナウイルス感染症の拡大という状況のなか、そんな思いを込めて「母子を孤立からまもる ～助産師、団結のとき～」としたことが報告された。

事業計画については、COVID-19の感染状況によって変更、中止の可能性はあるが、子育て・女性支援センターの活動推進として、無料電話相談の実施、オンライン相談を施行。東京都委託助産師教育指導講習会は予定として24講座挙げていたが、東京都と相談の上12講座開催するよう計画を進めている。独立行政法人福祉医療機構助成事業、通称WAMの助成を受けて、「助産師による在日外国人女性と子どもの支援 ～母親学級を通して～」の事業を進めていることが説明された。

<決議事項>

1. 第1号議案 2019年度決算(計算書類)報告 承認の件

財務理事の横川峰子より資料に基づいて説明されたあとと原案どおり可決された。

2. 第2号議案 理事13名選任の件

役員選任管理委員会委員長の佐々木美幸氏より、現理事13名が任期満了、新たに理事13名の選任について説明があり1名ずつ紹介した。議長が定款19条3項に基づき理事候補1名ずつ採決を行い、13名全員が承認された。

3. 第3号議案 監事2名選任の件

役員選任管理委員会委員長の佐々木美幸氏より、現監事2名が任期満了、新たに監事2名の選任について説明があり1名ずつ紹介した。議長が定款19条3項に基づき監事候補1名ずつ採決を行い、2名とも賛成多数で原案どおり承認された。

2) 2020 年度理事会・運営会議・地区分会長会議 報告

(1) 理事会・運営会議

開催日	内 容
第 1 回理事会 2020 年 6 月 13 日	<審議事項> 1.代表理事選定の件 2.役付理事選定の件 3.各委員会委員選定の件 4.2020 年度生・性を語るエドゥケーター認定者承認の件 5.助産師出勤費の支払いについて 6.2020 年度委託講習開催月について
第 2 回理事会(web) 2020 年 7 月 11 日	<報告事項> 1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.妊産婦むけの動画配信プロジェクトについて 5.マタニティフェスティバル検討 <審議事項> 1.中日アド企画委託事業担当者について 2.東京都委託講習講師の交通費について 3.2020 年度要望書（案）について 4.医療功労賞候補者について 5.生・性を語るエドゥケーター認定更新申請延長について 6.助産所部会研修計画について 7.入退会者の承認
第 1 回 臨時理事会 2020 年 8 月 10 日	<審議事項> 1.2021 年度日本助産師会代議員候補及び予備代議員候補の承認
第 3 回理事会(web) 2020 年 9 月 10 日	<報告事項> 1.会長・副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.政党ヒアリング報告 5.WAM 助成事業進捗状況報告 <審議事項> 1.新型コロナウイルスに感染した妊産婦への寄添い支援業務委託について 2.中日アド企画動画配信について 3.東京都委託講習会の講師補助者について 4.CIVID-19 流行下における支援対応指針について 6.入退会者の承認
第 4 回理事会(web) 2020 年 10 月 24 日	<報告事項> 1.会長・副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.マタニティフェスタについて <審議事項> 1.訪問看護ステーション立ち上げのためのプロジェクト設置について 2.マタニティフェスティバルの予算・運営について 3.入退会者の承認
第 1 回運営会議(web) 2020 年 12 月 26 日	<審議事項> 1.専門部会・委員会の 2021 年度活動計画
第 5 回理事会(web) 2020 年 12 月 26 日	<報告事項> 1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.東京都委託講習会報告 5.マタニティフェスタ決算報告 <審議事項> 1.妊娠・出産・産後の育児や生活に関するオンライン相談業務委託について 2.入退会、賛助法人の承認
第 2 回運営会議(web) 2021 年 1 月 30 日	<報告事項> 1.専門部会・委員会の 2020 年度活動報告
第 6 回理事会(web) 2021 年 1 月 30 日	<報告事項> 1.会長・副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.マタニティフェスタについて <審議事項> 1.2021 年度社員総会日程について 2.2021 年度マタニティフェスティバルの運営方法について 3.東京都功労者表彰推薦候補者について 4.入退会者の承認

第7回理事会(web) 2021年3月27日	<報告事項> 1.会長・副会長報告 2.専門部会委員会報告 3.事務報告 4.新型コロナウイルスワクチンについて <審議事項> 1.2021年度予算(案)・事業計画について 2.2021年度マタニティフェスティバルワーキングメンバーについて
第8回理事会(web) 2021年5月12日	<報告事項> 1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 <審議事項> 1. 2020年度収支決算について 2. 通常総会審議事項について 3. 通常総会開催方法について

(2) 地区分会長会議（地区理事：棚木めぐみ 名嘉真あけみ 清水幹子）

開催日	内 容
第1回 (web) 2020年7月11日	理事会報告 意見交換 ・マタニティフェスティバルについて
第2回 (web) 2020年10月24日	理事会報告 意見交換 ・沐浴動画制作依頼について ・地区分会主催 ZOOM 利用によるイベントなどについて
第3回 (web) 2020年12月26日	理事会報告 意見交換 ・災害協定 ・産後ケア ・助成金の申請
第4回 (web) 2021年1月30日	理事会報告 意見交換 ・東京都への要望について 地区分会長会議終了後、16時より懇親会として、新春俳句大会の表彰式開催
第5回 (web) 2021年3月27日	理事会報告 意見交換 ・オンライン助産師相談について

3) 2020年度 専門部会・委員会 報告

(1) 専門部会事業報告

【助産所部会】

担当理事：青柳三代子 委員長：渡辺愛

委員：月野真紀 向谷地幸子 一之瀬浩美 惣ト加納 柴亜希子 筏井沙織 斎藤吏香

目標：社会状況に応じて関係機関と協力しながら、助産所の分娩を安全に取り扱っていくようサポートしていく
 評価：

1 関係機関との協力について～

東京都周産期医療協議会及び搬送体制検証委員会に参加し、コロナ禍における医療機関体制に関する情報を得、さらに各助産所からの情報と合わせて助産所における感染対策マニュアルを作成した。

2 助産所の安全な分娩へのサポート

- ① 助産所部会集会の開催が例年2回のところ、今年は5回開催することができ、各助産所間の情報交換をすることができた。
- ② 安全対策委員会で取り上げられた助産所の事例に適したテーマをタイムリーに選択し、研修会を開催し、安全に分娩を取り扱うため、最新の新生児医療及び産科の知識の向上を図った。
- ③ 安全管理評価は自己評価又はペアでの評価だったため、各助産所の安全性についての確認は不十分であった。
- ④ 新規助産所の開設に向けて委員が出向いて具体的な助言と指導をし、最初の分娩を無事終了できていた。

委員会の開催：ZOOM で 5 回開催
 部会集会の開催：ZOOM で 4 回開催
 研修会企画実施

開催日	研修会	講師	所属	参加者数
11 月 21 日	母体の感染が新生児に及ぼす影響	森岡一郎	日大板橋病院	35
11 月 21 日	胎盤剥離と出血	土屋清志	府中の森土屋産婦人科	42

安全管理評価 10～11 月 ペアにして実施 自己評価 他者評価それぞれ現在集計中
 新助産所安全指導（2 カ所）
 2021 年度医療連携に関する書類作成および連携助産所の確認
 都立小児総合医療センター 公立昭和病院 都立大塚病院 国立国際医療研究センター

【施設勤務部会】

担当理事：大谷紗弥子 委員長：水村友香 委員： 赤山美智代 相沢澄子 岩田敦子
 目標：施設勤務助産師のスキルアップと会員同士の交流をめざす
 評価：

1.助産ケアの充実を図るための研修会

- ①東京都助産師委託講習会の企画・運営・評価 今年度は分担なし
- ②新生児を中心とした安全管理研修

1/23 に開催された日本助産学会主催の研修会と同じテーマとなってしまった。参加費が安いのはこちらの強みであるが、開催情報のリリースが遅かったのが反省点である。

今回のテーマについては、NICU がない産科病院・クリニックの看護師・助産師にとっては特に興味深い研修のようであるため、来年度も施設勤務助産師が自施設内で経験できないような研修会の計画、施設勤務助産師・看護師のニーズにフォーカスしたテーマを選定していきたい。

③助産師のキャリアアップのための研修会と交流会

施設勤務助産師の会員増員およびニーズの把握、情報提供の方法も再検討が必要と考える。

開催日	研修会	講 師	所属	参加者数
2 月 20 日	事例から学ぶ安全な新生児の管理	加部一彦	埼玉医科大学	34
2 月 20 日	ちょっと立ち止まってみよう 助産師としてのあなたの未来は	山岸由紀子 有馬夕紀	訪問看護ステーション cocoro 訪問看護ステーションダイジョブ	21

2.他部会との連携の強化

①助産所の評価に協力

今年度は新型コロナウイルスの影響で施設勤務部会からの参加はなかった。

3.施設勤務部会会員情報の把握と会員のニーズの把握

①施設勤務部会会員の情報を把握、顔の見えるつながりを作る試み

今年度はオンライン開催であったが、グループワークや顔出しでの参加に抵抗があるとの反応が 聞こえてくる。これは、対面でも同じような反応なのかは不明だが、近年の世代別ニーズを把握する必要がある。

②マタニティフェスタへの参画

「お産劇」の撮影を行い、動画配信で参

加 委員会開催 8 回開催

【保健指導部会】

担当理事：板橋知子 委員長：大野倫子
 委員： 岩佐一恵 中西貴子 牧野好恵 古川純子 平尾時栄 伊藤敦美 内田綾子

目標：1.部会員の保健指導に関する知識を深め技術向上を図る

2.部会員の職務上必要な自己評価の機会の定着

3.部会員のニーズに応じた活動の推進

4.部会員増員に向けての活動

評価：1.委託講習会のアンケート結果では受講者の満足度は非常に高く、講義内容が具体的であり、対象の把握の仕方関わり方をイメージでき直ぐに役立つという感想が多く寄せられた。

2.日本助産師会らの母乳育児支援安全評価は定着している。しかしヒヤリハット、グッドジョブの報告は1件のみ（メルマガでの共有）。自己評価をすることが自身の成長に寄与することと捉えてもらえるようRCA分析の講習会などを今後企画していく。

3.委託講習会のアンケートではメンタルヘルス、産後ケアの実際、母乳育児、マタニティクラスの効果的な運営などの講義を望む意見があったので来年度に反映させていきたい。

4.部会員の増員のために、まず委員の増員を図り3名の協力を得られた。それにより委員の活動が活性化し、マタニティフェスティバルの開催、マニュアル作成につながった。

委員会開催 3回

COVID-19流行下における乳腺炎を疑う症例の相談対応マニュアル（ver1）作成

11月3日 マタニティフェスティバル2020 zoom 開催の運営。定員80名を超える申し込みがあり、各プログラムとも高評価を得られた。次回も zoom 開催を望む意見もあった

日本助産師会保健指導部会から依頼の母乳育児支援に関する安全評価の調査

【総務総括委員会】

担当理事：北目利子 委員長：嶋村克子 委員：村田淳子 長塚美代子 山本弥生 加藤巴子

目標：総会および会員の表彰にかんする準備は実施を円滑に推進する

評価：1.総会を、理事、事務と一緒に手配し、円滑に遂行することが出来た。

2.推薦にあたり、理事報告、地区分会長報告の記載に配慮していただく様お願いをし円滑だった。

会長表彰者候補の広報を地区分会長会議でおこない候補者が集まった。

委員会開催 5回

2020年度受賞者（敬称略）

・会長表彰：土屋有利子 西山歌子 斎藤京子

・永年活動感謝状受賞者：内村イセ子 武川光子 金子秀子 白石勝子 権田倫子
杉山富士子 安藤京子

・東京都功労賞：橋本初江

・東京都医療功労賞：青柳三千代

【広報委員会】

担当理事：新野由子 委員長：荒慶子

委員：齋藤典子 高橋一紗 今村理恵子 中友里恵 宗祥子

目標：本会の活動内容などの情報を発信、会員、社会に発信する

評価：・編集会議を Zoom にし、委員同士のコンタクトの回数を増やすようにした。発行日には、事務局に原稿を送付することが出来た。

・広告について、1社漏れているときがあった。最終で何件あるのかを事務局と連絡を取ることにした。

・サンバ通信デザイン料については、会社別のデザイン料の比較表を提示した。

・SNS (Facebook) に記事をアップして拡散することが出来た。（※コロナ禍であったため、ネットからの情報は有効であった。）

・YouTube による動画配信も行った

・母乳 Map のチラシは全部配布済みのため、再版するかどうか検討し、自治体や病院へはフライヤーがあった方が妊産婦さんへ配布しやすいこともあり再版した。

【政策提言委員会】

担当理事：赤山美智代 委員長：宗祥子
委員：佐山理絵 清水幹子 横川峰子 代表理事 専務理事 常務理事
目標：要望書の作成

東京都福祉保健局との交渉
要望陳情活動
各地区分会の要望活動の推進

評価：・東京都福祉保健局との交渉について例年6月に行っているが令和2年度は、コロナの影響があり、対面での交渉は出来ず文書を提出することにより行った。
・助産師会でおこなったオンライン無料相談に関しては、会長の交渉により6月から東京都から予算が付いた。
・要望陳情活動は下記のとおり行った

日時	要望先	参加者	備考
8月25	公明党・都民ファースト	4	
9月1日	自民党	2	東京都助産師会館と同行
10月2日	自民党都連	5	国家予算要望
11月2日	東京都 小池都知事	8	各種団体からの東京都予算に対するヒアリング

※自見英子議員、丸川珠代議員から産後ケアの実態を知りたいとの声掛けがあり、文書で要望提出
学習会開催（8/19）母子保健事業に関わる実施主体である書く自治体に対する要望を効果的に行うため
練馬区、中野区の事例紹介。このことにより、いくつかの地区分会で、各自治体に対する要望活動が行われた。
どの様にして要望を提出し、交渉するかについて具体的な方法を理解することが出来て、活動の推進を行うことが出来た。

- 要望事項
- 1.すべての出産を経験する女性が、産前産後のケア・支援サービスを利用できるよう支援されたい。
また、地域で母子を支援する助産師の参画が推進されるよう区市町村に周知を図られたい。
 - 2.助産所における安全で安心な分娩を支援されたい。
 - 3.災害時において、助産師が有効な支援活動を行えるような仕組みを確保されたい。
 - 4.安心して妊娠・出産・子育てができる社会を実現するために、地域や施設で活動する助産師の能力向上に向けた取り組みを推進されたい。
 - 5.N I C U等入院児の在宅療養への円滑な移行及び退院後の安定した生活の継続のために、母親への支援において、地域の助産師の活用を推進されたい

委員会開催 4回

【教育委員】

担当理事：伊藤仁子 委員長：阿部直子
委員：小川朋子 大瀧悦子 松本弘子 中野渡陽子 豊嶋優子 橋本初江 土屋有利子 大谷紗弥子
目標：社会状況や会員のニーズに応じた研修や講習を企画運営する

評価：
東京都助産師教育委託研修会（以下委託講習会）
・急遽 zoom 開催となったが、時間がない、不慣れな中、大きなトラブルなく無事開催できた。
・「だれに何を聞いたらいいか、どこまでやらなければならないのか」等困惑したという他部会からの意見あり、連絡が十分行き届かなかったことを反省する。
・事務が行った事前課題の準備・処理の労力がとても大きかった。次年度も Web 開催予定なので事前課題なし、3h の Web 講習会とする方向。
・急遽 zoom 開催への変更だったので、準備するのにぎりぎりのタイミングだった。不慣れな中、負担が大きかった。

- ・負担が大きいと継続が困難なので、なるべく負担少なく継続できる方法を検討していきたい。例えば助産師会内に“Web 担当”のような相談窓口やサポート体制あるといいのではないか。教育委員の委託講習会だけでなく助産師会全体の問題と思われるため。

新生児蘇生法普及事業（NCPR）を開催する

感染拡大に伴い NCPR の開催を 8 月に中止と判断。今年度は特別措置として e-ラーニングで更新可能となっていたので、中止の判断でよかった。

委員会開催 6 回開催

教育委員会 東京都委託助産師教育指導講習会

		講義時間	講座テーマ	講師 敬称略	参加者数
第1回 助産力を高めよう	10月7日 (水)	13:30～15:30	女性の身体の診方	井本整体千葉支部長 早川 卓也	35
		15:40～17:40	発達の土台 ー遊びと関わりで赤ちゃんの発達を促すー	発達支援「Kids Sense」主宰 早期発達支援士 自閉症スペクトラム支援士、保育士 茂木 厚子	35
	10月10日 (土)	13:30～15:30	災害時の受援と支援を考える	日本赤十字社医療センター 副看護部長 中根 直子	26
		15:40～17:40	人間関係、暴力、恋愛、性を考える ～デートDVを見つめ、克服する～	一橋大学他非常勤講師 水野 哲夫	35
	10月15日 (木)	13:30～15:30	親の関わりと子どもの精神発達	渡邊醫院LIFE DEVELOPMENT CENTER 児童精神科医・副院長 渡辺 久子	36
		15:40～17:40	法律家から見た児童虐待とDVの関係	くく法律事務所 弁護士 馬場 望	35
第2回 ウイメンズヘルス	12月17日 (木)	13:30～15:30	“精神的ケアが必要な妊産婦”との コミュニケーションスキル ～基礎編～	国立精神・神経医療センター 認知行動療法センター 精神科医師 蟹江 絢子	38
		15:40～17:40	“精神的ケアが必要な妊産婦”に対する 認知行動療法 ～応用編～		38
	12月20日 (日)	13:30～15:30	更年期	日本赤十字社医療センター 第一産婦人科部長 木戸 道子	35
		15:40～17:40	乳がんの基礎知識と若年性乳がん患者の 支援の実際	聖路加国際病院 乳がん看護認定看護師 金井 久子	32
	12月22日 (火)	13:30～15:30	自尊感情を育てる関わりsoba-setを学ぶ	日本ウェルネススポーツ大学 教授 臨床心理士 近藤 卓	30
		15:40～17:40	家族を含めた支援に向けて、情報収集と アセスメントの在り方について	北里大学 看護学部 准教授 新井 陽子	29

【いのちの教育委員会】

担当理事：板橋知子 委員長：柴亜希子

委員：代田佳恵 岩佐寛子 熊澤貞子 菅井徹子 棚木めぐみ 大田静香 工藤有里

目標・評価

1. 東京都助産師会会員のいのちの教育に関わる知識、技術の向上。
covid-19 の影響で計画していた研修会実施が縮小、方法の変更になった。今後の方法を検討し、実施に向けて準備する。
2. いのちの教育実施状況の把握（いのちの教育活動実施調査）
回答率が低く、今後周知の方法、アンケート内容の検討が必要と思われる。
新規の学校から依頼を受けることが出来た。
3. 生・性を語るエディケーターの活動拡大
「生、性（いのち）を語るエディケーター認定」制申請および審査の更新。更新新規あり。「生、性（いのち）を語るエディケーター認定」の活動広報活動として、エデュケーター通信、メルマガへの 投稿を周知に努力した。
4. 教育機材の定期的な見直し。今年度は出来ず、来年度の課題とする。

委員会・臨時委員会 5 回開催

エデュケーター通信 2 回発行

研修会実施

開催日	研修会	講師	参加者数
9 月 27 日	SNS 等による性暴力被害から子ども達をまもる取り組み	宮崎豊久	56

エドゥケーター認定作業

今年度の認定者：新規 2 名 更新者：11 名

エドゥケーター交流会実施

【助産業務安全対策委員会】

担当理事：片岡弥恵子

委員：常任理事、3 専門部会理事または委員長、政策提言委員長、総務担当理事

安全管理室：委員長：蛭田明子 委員：鎌目淳子 藤田恵理子 岩井紗貴子 今井晶子

顧問：五島丈裕

活動・評価：異常報告・転院報告について安全管理室からの報告を受け、対応について検討した。適宜ヒアリングを行い、助産所部会と連携し、適時に対応できるよう努めた。

【災害対策委員会】

担当理事：名嘉真あけみ 委員長：荒井みね子

委員：北七子 鈴木享子 高谷陽子 田中よし子

目標：災害時に地区分会相互の支援連携が行えるように各地区分会の支援活動計画の整備を促進する。

評価：・新型コロナウイルス感染症拡大により委員会を対面で行ったのは 1 回のみで、後の活動全てはオンラインで実施した。慣れないことも多く手探りであったが新しい活動形態を企画するには良い体験となった。

・委託講習会内容から地区分会交流会内容への流れは災害時地区分会連携に向けて効果的に作用した。自治体との協定の活かし方や地区分会連携と受援について考える動機づけとして有効だった。

委員会開催 8 回開催

日本助産師会安全対策研修会参加

江戸川区地区分会勉強会 「災害時協定文覚書作成にについて」

安否確認訓練（日本助産師会合同）

地区分会交流会 「災害時の地区分会連携に向けて」（2/6 予定）

【産後ケア推進特別委員会】

担当理事：片岡弥恵子 委員長：岡津愛子

委員：山田静江 一之瀬浩美 江坂まや 佐々木美幸 大久保有紀子

目標：東京都における産後ケアの実態調査（管理対象調査及び利用者調査）計画立案・実施

評価：東京都における産後ケア事業の運営・実態・利用実態について学術学会で発表
産後ケア事業利用者の調査結果を学術雑誌に投稿

子育て女性健康支援センター

電話相談 毎週火・木曜日 10:00～16:00 相談件数 111 件

とうきょうマタニティフェスタ 2020

11 月 3 日（土）オンラインにて実施 参加登録者 123 名（スタッフを含む）

当日参加者 89 名、海外より 5 名、スタッフとして 17 名

プログラム視聴：各講座 20～30 名 YouTube ストリーム配信 457（全体）

オンライン助産師相談

2020 年 4 月 27 日から 5 月 23 日までのよていで東京都助産師会事業としてスタート

2020 年 5 月 16 日からは東京都委託事業として 6 月 30 日まで継続。相談件数 556 件

2021 年 1 月 4 日から 2021 年 3 月 31 日まで東京都委託事業として実施。相談件数 354 件

寄り添い型支援

2020 年新型コロナウイルスに感染した妊産婦への寄り添い型支援業務委託 延べ件数 7 件

いのちの教育

小学校 2 校、中学校 5 校（のべ 6 校）、高等学校 5 校（個人依頼除く）

covid-19 対策のため保育園 1 校、小学校 2 校、中学校 3 校中止

東京都助産師会 Youtube チャンネルの開設

COVID-19 感染拡大防止により母親学級などが中止になり、その代替方法として動画教材の作成と公開を行った 配信
動画数 60 本 チャンネル登録者 3730 人

独立行政法人福祉医療機構助成事業の実施

R2 年度社会福祉振興助成事業

「助産師による在日外国人女性と子どもの支援～両親学級を通して～」を展開。

母親学級：中国語 5 回開催（参加者 50 名）・タガログ語 5 回開催（参加者 13 名）

産後サロン：中国語 1 回開催（参加者 11 名）